

弘前市総合計画審議会議事概要（第6回）		
日 時	平成26年3月19日（水） 14時30分～16時20分	
場 所	弘前図書館 2階 視聴覚室	
出席者 （19人）	委 員 （14人）	檜楨会長、生島委員、齋藤委員、淀野委員、三上（弘）委員、清野委員、成田委員、工藤委員、佐藤委員、福士委員、山本委員、青山委員、名越委員、三上（隆）委員
	事務局 （5人）	経営戦略部長、行政経営課長、行政経営課長補佐、行政経営課総括主査、行政経営課主査
会 議 概 要 1 開会 2 議事 （1）前回議事概要について ①資料1に基づき事務局から説明した。 →了承された。 （2）弘前市経営計画（案）について ①資料2に基づき、事務局から説明した。 →特に意見なし。 （3）審議会に出された意見等、今後のスケジュールについて ①資料3、資料4に基づき、事務局から説明した。 ○主な質疑等の内容は以下のとおり。 □ これから先20年の市の健康づくり事業の中心は何か。例えば、市立病院を強化するとあるが救急輪番制を市立病院が一元化するのか。助成金を払って弘前大学病院に2次救急を全面的に担ってもらうのか。もう少し明確にしないと20年たっても現状は変わらないと思う。保健センターで弘前市医師会が実施している1次救急は夜間10時までで医師会員はボランティアで従事している。どこに焦点を絞って取り組もうとしているのか。 ⇒ 健康づくりについてはくらしづくり戦略に記載しており、生活習慣病の予防を弘前大学医学部に指導を受けながら取り組んでいる。まず、検診受診率を上げるために検診を受けていない人をリストアップしてしつこく勧奨する事業を新しくやることになっている。がん関係では胃がん検診の無料化を実施することになっている。また、小学校から健康教育を実施して健康の教養を高めてもらう長期的な取り組みもあわせて実施していくになっている。これらの取り組みで働き盛りの若い人が亡くなる数を少しでも減らしていきたいと考えている。 市立病院については自治体病院の再編の協議会を設置する事業を位置付けて		

おり、来週には各自治体の長が集まって協議をすることになっている。また、市の中に自治体病院再編のプロジェクトチームを立ち上げ、県も含めて市立病院の位置づけを自治体病院再編の中で整理していくことになっており、弘前大学との役割分担も考えながら取り組んでいくことになる。

- 検診の受け入れ体制は青森市と比べて難しい状態なので検診専門の大規模なセンターをつくる必要がある。また、検診だけで改善されないがんもあるので、禁煙の推進、冬場も含めた運動不足を解消するための環境づくりを計画の中に盛り込んでもらいたい。
- 事務局にはいま要望のあった運動を進める環境づくりを経営計画に書くようにしていただきたい。また、これは経営計画なので単に計画をつくれればいいのではなく、4年計画で出されたものを見て、各主体がそれぞれの役割を考えながら弘前づくりが進められるようになればいいのだろうと考える。
- この経営計画は膨大な量で一般の市民がなかなか見る機会がないので、様々な委員会、協議会等の場面で関係した部分を説明していくものなのか。
⇒ 市民向けに概要版をつくって公表していきたい。また、個別の会議についても対応していきたい。
- 商工会議所では行政に対する建議活動というものがある。建議の際によくあるのが計画に掲載されないので実施出来ないという回答をもらうことがある。この先4年間、この計画で固定されるのか、それとも、その都度、市民等のニーズに対応した事業を追加していくのかお聞きしたい。
⇒ アクションプランと同じように毎年度更新していくものである。また、次の年度を待たずに補正予算等で対応するということも検討している。
- この計画の策定を担当する部署と事業を実施する現場の部署としっかりと共通認識をもって対応していただきたい。
- 計画の形態は良いが人の姿が見えてこないと感じている。これまでの策定過程として市民会議で話された内容が見えてこないのも、市長への提言内容を見せていくことが必要なのではないか。この先の20年ということを市民の方が話し合われたと思うので見せていただきたい。
⇒ 人の顔が見えないということについて、策定のプロセスにも記載しているようにこの計画は市民会議から始まり、20年後の将来像をこの市民会議で決めたというのが非常に大きな特徴であり、更に市民の行動計画を計画に位置付けることも他の自治体ではないと認識している。市民会議の提言内容については資料編に追加したい。
- 指標について数字に追われているという感じがしてならない。例えば、施設の運営について運営だけをすればいいのでもなく市民活動の中身が必要である。図書館の運営についても貸出冊数だけではいけないと思う。今後のレファレンスといったものが必要なものである。
- 私は合併後の新市総合計画で公募委員で審議会の委員をやらせてもらい、今回も市民会議、審議会の委員をやらせてもらっている。審議会の資料や計画の全体的な

流れなどを見ると、前の総合計画より市民にとってわかり易いのでないかと思う。ただ、見やすくなったことで中身がオープンになっている部分があり政策を行ううえでは大変になるのではないかとも思っている。また、指標については市民は指標をあまり気にしないで目に見えた結果が評価の材料になる。目標値、基準値は行政側として運営上必要かもしれないが市民にとってわかり易い表現をどこかに加えてもらいたい。

- 市民会議のやり取りや結果がずっと見えてこなかったのが引っかかっていた。また、アクションプランの市民評価会議に参加しているので、この指標で良いのかというのが気になる。市民会議の内容がどう計画に反映されているのか市民にもわかり易くすることと、指標の再考をお願いしたい。

⇒ 市民会議から出された提言内容が見えるように計画に追加する。

※ 今後の進め方等について説明

3 閉会